

・会議の日時及び場所

日時 平成26年12月24日(水) 午後1時40分～午後4時00分

場所 小山市立中央公民館 試写室

・会議の組織人員

人数 6人

・出席委員

- |     |        |
|-----|--------|
| 1 番 | 福井 崇 昌 |
| 2 番 | 神山 宜 久 |
| 3 番 | 福地 尚 美 |
| 4 番 | 新井 泉   |
| 6 番 | 酒井 一 行 |

・説明のため本会議に出席した職員

教育部長 片柳 理 光

教育総務課長 添野 雅 夫

学校教育課長 中島 利 雄

生涯学習課長 栗原 要 子

文化振興課長 田村 秀 雄

生涯スポーツ課長 篠田 稔

生涯スポーツ課市立体育館建設担当 上野 安 夫

生涯スポーツ課市立体育館建設担当 阿久津 宣 明

・書記

教育総務課課長補佐兼総務政策係長 小林 功

・議題

報告事項

1 教育総務課

- ・寄付受入れについて
- ・第61回教育文化保健体育功労者表彰式の挙行について
- ・平成26年度小山市中学生紹興市派遣事業について
- ・小中一貫校に係る地域説明会について
- ・平成26年度教育施設整備の進捗状況について

2 生涯学習課

- ・小山市制60周年記念 第9回小山市青少年健全育成大会の開催結果について(報告)
- ・第2回小山市いじめ等防止市民会議について

3 文化振興課

- ・第24回小山市文化振興大会  
(～小山市制60周年記念～第61回市民文化祭開幕祭)の開催結果について
- ・第39回栃木県文化振興大会について

4 生涯スポーツ課

- ・小山市制60周年記念・小山市スポーツ都市宣言記念  
「第1回ツール・ド・おやま2014」の結果について
- ・小山市制60周年記念・小山市スポーツ都市宣言記念  
「第2回小山市フォークダンスフェスティバル」の結果について
- ・第65回県南五市対抗親善駅伝競走大会の開催について
- ・第56回栃木県郡市町対抗駅伝競走大会《夢ふる とちぎ路駅伝》の開催について
- ・平成26度大会結果速報について

#### 審議事項

##### 1 教育総務課

- ・小山市通学区域検討委員会の設置及び  
小山市立中学校通学区域制度検討委員会の廃止について
- ・小山市通学区域検討委員会への諮問について

##### 2 文化振興課

- ・小山市国史跡琵琶塚古墳、摩利支天塚古墳整備委員会専門部会設置に伴う  
委員の委嘱について

#### 協議事項

##### 1 生涯スポーツ課

- ・市立体育館建設事業の進捗状況と基本計画（修正案）の概要について

#### ・議事内容

##### ○添野教育総務課長

皆さん、こんにちは。12月の定例教育委員会を始めるにあたり、本日は西口委員より欠席する旨、また新井委員より少々おくれる旨のご連絡をいただいておりますので、ご了承をお願いいたします。

会議録署名委員につきましては、今回、西口委員の順番でございましたが、本日欠席ということで、神山委員さんをお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。

それでは、委員長、よろしくお願ひします。

##### ○福井委員長

それでは、ただいまより12月の定例教育委員会を開会いたします。

12月ということで、インフルエンザがはやり出しまして、学校や社会教育機関でも気をつけなくてはならない時期かなと思います。あとは、年度末ということで、何かといろいろせわしないことも重なろうかと思うのですが、しっかり現場でやっていきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

報告事項を教育長からお願ひいたします。

##### ○酒井教育長

諸行事についてご報告申し上げます。

12月5日でありますけれども、教務主任研修会がございました。中でも今年度の教育課程の実施状況を確認しながら、特色ある各学校における教育課程の編成について、特に学習指導などに重点を置きながら、編成作業を進めていくよう指示をさせていただいたとこ

ろであります。

それから、学校訪問関係でありますけれども、11月14日に間々田中学校に新規採用職員訪問、19日には延島小学校に計画訪問、26日にも若木小学校に計画訪問ということで行ってまいりました。そのほか、市長に随行いたしまして、11月20日には美田中学校に市長の出前授業ということで、渡良瀬遊水地関連の講話が中心にありました。

また、給食関係でありますけれども、12月8日、わ食の日でございますので、わ食の日給食ということで城北小学校へ出かけ、肉じゃがなどおいしくいただきてまいりました。また、16日には、羽川小学校においてホンモロコひのてんぷらでございましたけれども、これも市長ともども試食をさせていただきました。これらについては、報道等がございましたので、ご存じかと思っておりますけれども、念のため報告をさせていただいたわけでありまして、

それから、現在、小中一貫校の推進委員会、豊田地区、絹中学区で進めているわけでありまして、12月4日、豊田、12月5日、絹で最終の小中一貫校についての説明会を開き、その推進委員会が18日、19日と行われたわけでございます。内容につきましては、この後事務局のほうから報告をさせます。

それから、文化振興関係でありますけれども、重複しているかも知れませんが、南小木の田波家が有形文化財建造物として登録をされまして、その認証の授与式が12月17日に行われまして、跡継ぎの方においでをいただきお渡しいたしました。

以上、報告をさせていただきました。

○福井委員長

続きまして、教育部長からお願いします。

○片柳教育部長

私からは、第6回市議会定例会におきます一般質問についてご報告いたします。委員の皆様方のお手元に資料別冊を置かせていただきました。今回、8人の議員から20項目の質問がありました。7番の森田晃吉議員につきましては、後日取り下げということになりましたので、8議員から20項目の質問ということでございました。その概略でございます。

まず、山口忠保議員から、放課後子ども教室の現状と課題についてという質問がございました。現在、間々田小学校、乙女小学校、豊田北小学校の3小学校におきまして、勉強、スポーツ、地域の交流の場として実施していますが、今後の課題としまして、魅力あるプログラムの実施と人材の確保、育成が必要である旨を答弁いたしました。

次に、小川亘議員から、小中学校の太陽光発電施設に蓄電池を設置する考えはないかという質問がございました。この蓄電池を設置する場合、多額の費用を要すること、また学校の発電施設は教育環境を目的としたものであるため、容量が小さいので、蓄電池を設置した場合の活用範囲が通信機器に限られることに加えまして、国庫補助を受けているということから、10年を経過しない中では補助金の返還の可能性があるため、現状では難しいという答弁をいたしました。

次に、岡田裕議員から、コーディネーショントレーニングの取り入れと蚊撲滅運動についての小中学校での指導についてという質問でございます。コーディネーショントレーニングにつきましては、遊びの要素を入れながら運動能力を伸ばすという、それに近い内容として既に実践しています。また、蚊撲滅につきましては、夏休み前や集会の機会に指導していく旨を答弁させていただきました。

次に、小林英恵議員から、間々田のジャガマイタの国指定重要無形民俗文化財指定に向けた動き、また美術館、博物館の現状及び間々田中学校の天体望遠鏡の活用についての質問がありました。ジャガマイタにつきましては、国指定に向けて今後も努力していくこと、また美術館、博物館につきましては、多くの企画展を実施しまして、成果を上げていること、望遠鏡につきましては、今後その補修、利活用について総合的に検討していく旨を回答いたしました。

次に、福田幸平議員から、これは数多くあったのですけれども、小中学校校庭の再整備、芝生化、ボランティア教育の現状、特別支援教育の充実、ユニバーサルデザイン等々の質問がございました。まず、校庭の再整備につきましては、学校、地域の意見を踏まえまして、状況に応じて対応していきたい。芝生化につきましては、低コストでの整備について、今後研究していきたい。ボランティア教育につきましては、県の研修会に参加しまして、その後就学時健康診時等に親学習プログラムを実施していること。また、学校におきましては、総合的学習の時間や学校行事等でさまざまな活用をしていること。特別支援教育につきましては、コーディネーターを中心に計画的、継続的に実施していること。また、独自の専門家チームを編成し、巡回指導をしていること。さらに、市内の25校でユニバーサルデザイン化を取り入れて授業を行っていること。また、多くの大学生スクールサポーター活動をして成果を上げていることなどを答弁いたしました。

次に、角田良博議員から、6月、9月の議会に続きまして、市立体育館の進捗状況についてということで質問がありました。市民の強い要望を受けた施設であること。また、栃木国体、障害者スポーツ大会、オリンピック・パラリンピックの受け皿として、また社会整備交付金等を活用するためには、平成29年度までに完成することが必要であるので、今後、基本計画の修正等を議会に説明した上で、平成27年度予算に設計関係の予算を計上したい旨を答弁いたしました。

次に、青木美智子議員から、家庭学習支援システムについての質問がございました。これまで17,000回利用されていること。ただ、課題としては、ネット環境が必要であること。ただし、希望者にはプリントを配布することなど対応しているといたしました。今後、課題を一つ一つ解決しながら推進していきたい旨を答弁いたしました。

最後に、安藤良子議員からですが、命の大切さ教育についてという質問がありました。現在、市内の多くの小学校で動物を飼育しまして、命を大切に作る心が生まれていること、獣医師会南部支部で作成するニュースレターを全小学校に送信し、貴重な情報を有効活用している旨を答弁いたしました。なお、詳細につきましては別紙のとおりでございますので、後ほどごらんいただきたいと思います。

以上でございます。

○福井委員長

続きまして、教育総務課長からお願いします。

○添野教育総務課長

資料の2ページをご覧いただきたいと思います。教育総務課からは、こちら表示されているのは3点でございますが、大変申しわけございませんが、資料の作成が遅れまして、本日、報告事項追加ということで別冊にしてあります。こちらで2件、合わせて5件の報告でございます。

まず、3ページをご覧いただきたいと思います。寄附の受け入れ報告で、大谷東小学校に80冊、そして中央図書館に合わせて23冊の蔵書の寄附でございます。

続きまして、4ページをお開きいただきたいと思います。第61回教育文化保健体育功勞者表彰式の挙行についてでございます。例年行っております小山市の教育文化の振興発展に貢献した個人及び団体に対して表彰を行うものでございまして、期日が平成27年1月30日午後4時から、文化センターの大ホールで行う予定でございます。なお、被表彰者の決定につきましては、年内に表彰者の選考を行いまして、1月の定例教育委員会にて決定をいただきたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

続きまして、7ページをお開きいただきたいと思います。平成26年度小山市中学生紹興市派遣事業についてでございます。

8ページでご説明をさせていただきたいと思います。こちらは実施要綱でございまして、平成18年から平成22年まで高校生を派遣してまいりました。平成23年度に小山第三中学校の生徒を派遣し、その後、日中間のさまざまな諸情勢を踏まえまして、平成24、25年度につきましては、実施を見送った経緯がございます。本年度、平成26年度実施を再開するというので、紹興市への派遣期間につきましては、来年の3月25日から28日、3泊4日の予定でございます。派遣団員につきましては、中学校2年生、原則各中学校1名でございます。引率者につきましては、中学校及び小山市から3名を予定しております。

資格等につきましては、後ほどご覧いただくとして、10ページ、11ページをお開きいただきたいと思います。日程表並びに研修等の日程が記載してございます。11ページの下段のほうに派遣団員の名簿が載っております。派遣団員11中学校でございしますが、美田中学校と絹中学校からの応募がございまして、今年度は計9名、男子4名、女子5名で実施する予定でございます。

別冊をごらんください。1ページでございます。小中一貫校に係る地域説明会についてということで、先ほど教育長からは推進委員会の報告がございましたが、豊田、絹両推進委員会及び城南地区の基本構想を策定している建設推進委員会も開催し、全て開催は終わっているのですが、資料の取りまとめが手聞取っておりまして、次回1月に推進委員会の内容についてご報告をさせていただきたいと思います。今回は、豊田、絹両中学校区での地域住民、保護者等への説明会の内容について、そのご意見等についてご説明を差し上げたいと思います。

2ページをご覧いただきたいと思います。豊田中学区の説明会につきましては、10月29日から12月4日まで計5回開催させていただきました。場所につきましては、豊田北小学校、豊田南小学校の体育館等を借用しまして、開催いたしました。保護者とあるのは、基本的にはPTA関係、小学校の保護者でございます。自治会とありますのは、自治会の皆様ということで、これはあくまでも原則なものですから、どちらに出てもいいということでございます。最後に、豊田公民館で、どちらにも出席できなかったという方のために、予備として設けさせていただきました。合計72名の参加をいただいたところでございます。

説明会におけるご意見、またご質問については、記載のとおりでございまして、主なご意見としては、中学校の部活動の充実、それから通学路の安全性、また人口をふやすための取り組み等のご意見をいただきました。質問といたしましては、小中一貫校開校までのスケジュール、それから学区、学校再編に関する質問、それから児童生徒数をふやす取り

組み等の質問がございました。

続きまして、3ページでございます。絹中学区の説明会につきましても、同じように10月27日から12月5日まで、それぞれ3小学校並びに絹公民館で合計121名のご参加をいただいたところでございます。主なご意見といたしましては、小中一貫校へ移行する場合の児童の精神的な負担を減らしてほしい。これは、今まで少人数だったものが、統合しますと人数がふえるということでの精神的な負担があるのではないかとということでございます。また、安全安心に通学するための手段を確保してほしい、地元の意見を聞きやすい検討体制としてほしいなどのご意見をいただきました。また、質問では、メリット、デメリットに関する質問、それから小中一貫校の名称や施設形態、指導区分等に関する質問、また今後のスケジュールに関する質問等がございました。以上が絹中学校及び豊田中学校区の地域説明会についてでございます。

続きまして、4ページでございますが、平成26年度、今年度の教育施設整備の進捗状況についてご報告をさせていただきたいと思っております。報告につきましては、3件でございます。まず、5ページを開いていただきますと、資料1といたしまして、大谷東小学校普通教室等増築事業についてでございます。こちらの事業につきましては、平成26年、27年度の2カ年間で、土地の購入から校舎の建築完成までを見込んでおります。6ページに図面がございまして、現校舎の西側に増築校舎を建てて、こちらに児童を入れるということでございます。現在、建物設計等が終わりまして、2月議会に校舎の建築工事契約の議案を上程いたしましたして、議決を受けて工事に着工するという予定でございます。

7ページ、8ページにつきましては、校舎の平面図がございまして、7ページが1階平面図でございまして、こちらについては職員室のほかに保健室、図工室、第2音楽室というような特別教室等が入っております。8ページは、普通教室等が5教室南側に並びまして、北側には特別活動室として、2教室フリーに使えるスペースを設けたものでございます。

最後、9ページは、完成のイメージ図となっております。このようなイメージでできるということでございます。

続きまして、10ページでございます。小山第三中学校柔道場建設工事でございます。次の11ページ、12ページをお開きいただきますと、学校の位置図がございまして、工事箇所が北西の、現在、剣道等で使っている武道場のすぐ脇に建築するものでございます。現在は、入札が終わりまして、工事契約をして工事を進めているところでございまして、来年の3月末には完成、4月から柔道場として使っていただくところでございます。

13ページ、14ページには、平面図、そしてイメージ図がございまして。

最後なのですが、15ページ、16ページをごらんいただきたいと思います。小学校のトイレ改修工事についてでございます。こちらにつきましては、国の平成25年度補正予算を活用いたしまして行う事業でございまして、小山城東小学校、小山第二小学校、大谷北小学校の3校について、それぞれ全部一緒にはできないものですから、その一部ということで、トイレの改修事業を行うものでございます。2階建て、3階建てで、上から同じところをフロアごとに実施するものでございます。総事業費は、約1億2,000万円弱ということでございます。こちら3月末には完成するという見込みでございます。

以上、ご報告申し上げます。

○福井委員長

続きまして、生涯学習課長からお願いします。

○栗原生涯学習課長

それでは、生涯学習課から、小山市制60周年記念第9回小山市青少年健全育成大会の開催結果についてご報告させていただきます。

資料は、12ページから14ページまでをごらんいただきたいと思います。第9回の小山市青少年健全育成大会は、市制60周年記念大会として開催したものでございます。青少年の多様な活動の発表の場を提供とすることを目的といたしまして、アトラクションを「青少年による自由パフォーマンス」と題しまして、小山城南高等学校書道部による書道パフォーマンスや市内出身、市内在住の青少年が楽器演奏などを披露し、2部構成で行ったものでございます。

第1部は、青少年の主張作文コンクール。この内容につきましては、13ページに発表者及び審査結果が一覧表として載っておりますので、ごらんいただきたいと思います。第2部といたしまして、アトラクション、青少年の自由パフォーマンス、この部分がことし変わった部分でございます。4つのグループが、それぞれ自分たちの持ち味を生かしまして、発表していただきました。

それから、閉会行事の後、今回から変わったところがございますが、小山市あいさつ運動の啓発作品コンクールの表彰、青少年の主張作文コンクールの表彰ということで、14ページをごらんいただきたいと思います。こちらには作品コンクールの結果が載っております。今回、おかげさまで参加人数が657名と、多くの方に参加をいただきました。教育委員の皆様には、最後までご出席をいただきまして、大変ありがとうございました。

続きまして、第2回の小山市いじめ等防止市民会議についてのお知らせでございます。15ページをごらんいただきたいと思います。

全国的に日常生活の延長上でいじめが生じ、子供たちの心身の健全な発達に重大な影響を及ぼす深刻な問題になっているいじめ問題。このような問題を未然に防ぐとともにいじめ撲滅を目指すために、昨年度から家庭、学校、地域、行政が連携しまして、小山市いじめ等防止市民会議を立ち上げまして、「おやまのよい子を育てる大人宣言」を採択して、いじめ防止の啓発活動の取り組みを始めたところでございます。今年度は大人宣言を受けまして、取り組みを振り返り、活動したことについての実践事例の発表を行うものでございます。

日時につきましては、来年1月19日月曜日、2時半から4時半まで、文化センター小ホールで開催いたします。教育委員の皆様にもご出席をいただきたいと思います。

主な内容といたしまして、第1回が「おやまのよい子を育てる大人宣言」の振り返りのアンケート結果や、いじめゼロ子どもサミットで書かれた「子どもからの大人へのメッセージ」などを通して、各委員及び団体がいじめ撲滅に向けてできることを考え、話し合ったものでございます。今回は、自分たちが取り組んできたことを実践事例としてそれぞれ発表し、今後も継続して行っていくことを確認していく内容となっているものでございます。

それから、ここに資料はございませんが、先日、おやまっ子いじめゼロ宣言カレンダーができましたので、お知らせをしておきます。

以上でございます。

○福井委員長

続きまして、文化振興課長からお願いします。

○田村文化振興課長

文化振興課から、報告事項が2点になります。16ページになります。

まず、第1点目なのですが、第24回小山市文化振興大会（～小山市制60周年記念～第61回市民文化祭開幕祭）の開催結果ということになります。振興大会は、文化祭の開幕祭というような形で位置づけて考えております。趣旨としましては、文化振興大会は、豊かな人間性と連帯感あふれる地域社会の実現を目指し、文化活動に携わる関係者が一堂に会し、講演、発表等を通して芸術文化の振興を図るということを目的に、平成5年から開催しております。市民文化祭も平成5年から開催しております。本年度は式典終了後に、栃木警察音楽隊によるミュージックパトロール、工芸クラブ連合会による抽せん会も開催いたしました。

日時が平成26年11月1日の土曜日、1時から4時。会場は、小山市立文化センター大ホール。表彰式については、中学校と小学校交代でやっているのですが、小学生に出していただいた文化祭のポスターの表彰になります。あと文化協会功労賞については、ごらんとおり2名の方を表彰させていただきました。入場者数ですが、約580名の方が参加していただきましたことを報告申し上げます。

続きまして、17ページになるのですが、第39回栃木県文化振興大会、同じような題名なのですが、これは県の文化振興大会、ことし小山市が当番になります。趣旨としましては、社会変化と時代の進展に伴い、県民の文化への志向がますます高まる中、文化活動に携わる関係者が一堂に会して文化の交流を図ります。ことしは、下都賀東部ブロックが開催場所になりまして、小山市、下野市、野木町の3市町で開催する運びになり小山市が会場となっております。

内容としましては、日時が平成27年1月24日の土曜日、12時から16時ということになります。主催につきましては、栃木県文化協会、栃木県、小山市教育委員会、下野市教育委員会、野木町教育委員会、下都賀東部ブロックの文化協会になっております。日程につきましては、展示、茶席、こちらは10時から、式典前に行います。式典は12時からになります。ウェルカムコンサートが12時20分から、記念式典が1時からになります。式典の内容は、（1）から（6）までのとおりになります。アトラクションとしまして、担当市町村で、小山市が2件、下野市と野木町が1件ずつ、4件のアトラクションを開催する予定になっております。大会には県内の大体25市町村、約700名程度の方が参加していただける予定になっております。

以上であります。

○福井委員長

続きまして、生涯スポーツ課長からお願いします。

○篠田生涯スポーツ課長

18ページをお開きください。生涯スポーツ課は、18ページから24ページまで5本の報告をさせていただきたいと存じます。

まず、第1回ツール・ド・おやま2014の結果でございます。こちらにつきましては、当

初企画政策課の主導で進んでおりましたが、途中から生涯スポーツ課の大会等のノウハウを生かしてほしいということで、主体的にかかわったものですから報告等が事前にできませんで、申しわけありません。報告のみさせていただきたいと存じます。11月8日に実施いたしております。ごらんのように、小山総合公園第一駐車場発着で実施しております。これにつきましては、別紙で配付しております。

片方は30キロメートル、エンジョイコース、これは小山総合公園を出発いたしまして、南下をし、そして、北上いたしまして、道の駅思川を経由し、小山総合公園に戻ってくるという約30キロのコースでございます。裏面が60キロメートル、チャレンジコースという名称で、先ほど30キロコースが道の駅思川で別れて総合公園に戻ってくるコースにしたわけなのです。60キロコースにつきましては、ここからさらに北に向かいまして、桑地区の第3エイドということで、摩利支天塚古墳とを経由いたしまして、国道4号線、東北本線を横切りまして、桑地区の人工池100選にも選ばれております大沼を経由いたしまして、今度は思川の西側の川べりを通して、小山総合公園に戻ってくるというコースでございます。

申し込みにつきましては、資料に戻りたいと思いますが、60キロが400名、30キロコースが200名、合わせて600名近いエントリーをいただきました。その内訳でございますが、大まかに市内の方が3分の1、市外の者で県内の方が3分の1、そして県外の方が3分の1になりました。実際に当日走った方々は5番のような状況でして、特別賞の皆様小山の米などを差し上げたところでございます。以上でございます。

続きまして、19ページでございます。第2回小山市フォークダンスフェスティバルを11月30日に実施いたしました。栃木県立県南体育館メインアリーナでございます。参加者の状況でございますが、小山市内から14チーム、市外から19チーム、個人参加者ということで111名、市の新採職員25名、合わせて471名。役員がこれに加わりまして534名で実施したところでございます。これにつきましては、第1回とほぼ同様の人員でにぎやかに開催いたしましたところでございます。

20ページには、フェスティバル関係のプログラムを参考までに掲載させていただきました。

続きまして、21ページ、第65回県南五市対抗親善駅伝競走大会の開催についてでございます。こちらにつきましては、来年1月12日月曜日、祝日に実施をする予定でございます。小山市中央市民会館からスタートいたしまして、足利市陸上競技場に向かうコースでございます。裏面をごらんいただきたいと思います。7番走路ですが、10区間45.9キロをこのような内訳で選手を選考いたしまして、当日大会に臨む予定でございます。1月10日の結団式には市長、教育長の出席をいただきまして、激励の言葉をいただく予定でございます。

続きまして、23ページ、第56回栃木県郡市町対抗駅伝競走大会の開催についてでございます。来年1月25日日曜日に実施するものでございまして、栃木県庁をスタートして、栃木市総合運動公園へ参りまして、戻ってくるという形でございます。

24ページに実施要綱を掲載いたしております。4番をごらんいただきたいと思います。開会式が9時15分、往路スタート10時、復路スタートが12時30分、閉会式を15時で予定しているところでございます。区間については、ごらんの表のような予定でございます。小山市ではAチームが昨年は8位、Bチームが23位という結果でした。

それ以上の成果を上げるため、関係者打ち合わせを積んでいるところでございます。結団式を前日の1月24日に小山運動公園で予定をしております、教育長等のご激励の言葉をいただく予定でございます。

続きまして、25ページ、平成26年度大会結果速報、10月29日から12月8日分を報告させていただきます。内容でございますが、県高校新人スポーツ大会の重量挙げ、渡辺雅也、山根大地、関風輝、谷内慎、4名の成績はごらんとおりでございます。11月23日には、小山 Spirits が県ミニバスケットボール大会で優勝しております。小山第一小学校、小山第二小学校、若木小学校の子供たちで構成されたクラブチームでございます。12月1日には、白鷗大学が全日本大学バスケットボール女子の大会におきまして、準優勝の成績をおさめております。参考といたしまして、萩野公介選手の最近の状況をまとめたものを掲載させていただいております。

以上簡単ですが、報告とさせていただきます。よろしくお願いたします。

○福井委員長

報告事項につきましては、以上でございます。これらについてのご質問、ご意見などをお伺いたします。

神山委員、どうぞ。

○神山委員

中国派遣なのだけれども、美田中学校と絹中学校から誰も行かないというのは、何か理由でもあったのですか。行事が重なるとか

○添野教育総務課長

11ページで、応募者数ということでゼロだったのです。一つ考えられるのは、この事業は2年生のときに参加していただくわけなのですが、3年生のときにオーストラリアのケアンズに8日間派遣があるのですが、中国に行ってしまうと、ケアンズのほうは行けないということになっておりまして、ケアンズに行きたいので、こちらは遠慮したいというのも一つの理由かと思っています。

○神山委員

そういうことですか。何かもったいないような気がするよね。

○添野教育総務課長

希望で行っていただくため、多いところは、その中から選抜するということなので、無理にどうしても出しなさいというわけにもいかないものですから、今回はいたし方ないのかと思います。

○神山委員

ほかの中学校で1名しか希望者がいないというのは、学校で1名ピックアップした様な気もするのだけれどもね。

○添野教育総務課長

その選考というか、学校でお声かけていただいていると思うのですが、その辺のところについて、詳しい事情はわからないのですが、そういうこともあったかもしれないと思います。

○神山委員

それから、小山市は本溪市とは全く手切ってしまったのですか。

昔は本溪市だったような気がする……

○添野教育総務課長

市民生活課が国際交流を担当しているので、私も細かい内容は、どのような状況かというのには存じ上げないので、大変申しわけございません。

○福井委員長

ほかにいかがでしょうか。

福地委員、どうぞ。

○福地委員

生涯学習課から、私宛てに、いじめ防止の「**おやまのよい子を育てる大人宣言**」の**ちらし**をいただきましたよね。それを職場の待合室に置いておいたのですが、あるお客様が、ぜひコピーしたいので、お借りしていいですかということでしたので、うちでコピーをしてお渡ししておきました。ですから、一般の方にも目に触れるようなところがあると、とてもいいのではないかと思いました。

○栗原生涯学習課長

わかりました。ありがとうございます。

○福井委員長

それに関連して、そのカレンダーというのは家庭に配るのですか。

○栗原生涯学習課長

このおやまっ子いじめゼロ宣言カレンダーは、各小中学校の各学級に掲示をしていただいております。内容をごらんいただきたいのですが、5つ宣言がありましたので、月曜日から金曜日まで、各学校での取り組み方はさまざまかと思いますが、唱和をしていただいて、いじめ撲滅に向けて子供たちが自分たちで認識していただきたいと**願いまして**、カレンダーの形をつくらせていただきました。各小中学校に3学期から活用していただくようお願いしているものでございます。残念ながら、教育委員の皆様には差し上げられませんが、よろしく願いいたします。

○福地委員

見せていただきますね。

○福井委員長

かなりこれはがっちりしたものです。

○栗原生涯学習課長

永久性のあるものです。

○神山委員

使い方は学校に任せてしまうのですか。

○栗原生涯学習課長

はい、そのようにお願いしています。

○福井委員長

福地委員、どうぞ。

○福地委員

いじめということで、きのうかおとといかNHKのテレビ番組で取り上げて、親が学校にも出さない、外にも出さないという、生まれてから18歳になるまで、自分の子供はいな

かったように育てていたという方がいらして、とても普通の人には考えられないのですけれども、本人は18歳になるまで、私を誰か助けてくれないかと思っていたらしいのです。そういう生活を強いられている人に手を差し伸べられるのか、悲しい思いをしながら見ていました。

○福井委員長

それは、学校現場で逐次把握はしているのでしょうかね、就学児童と整合性がとれているかどうかということは。学校教育課はどうなのですか。

どうぞ、学校教育課長。

○中島学校教育課長

当該学校での就学時検診時に、当日欠席されたお子さんにつきましては、後日、合同健診の機会を設けて受診していただいております。そのほか、市役所から各学校別に就学予定児童のリストが打ち出されてきますので、そのリストをもとに、学校に安否確認をお願いしているところです。今年5月、全国的に所在不明児童のことが話題になったときに、小山市でもチェックを行ったところ、既に外国へ帰国していたことがわかり、実際には、小山市に所在不明の児童はいなかったことがわかっています。現在、再度チェックを入れているところですが、特に所在不明者がいるという連絡は入っていません。

○福井委員長

よろしいですか。

教育長、どうぞ。

○酒井教育長

福地委員がおっしゃっているのは、別な意味もあるのだらうと思うのです。要するに戸籍がある人間については、今のように打ち出されて、そしてどこにいるのだと探すことができるわけですね。ただ、無戸籍の人がどれだけ日本国中にいるのかとか、私もたまたまおとといテレビを見ておりました。サービスエリアあるいは道の駅あたりで生活をしている、そういった家族がいるということで、把握のしようがないわけですね。そこに3晩なり、4晩なり泊まっているのだから、そこにいる方が通報などしたり、聞き取りをして、問題意識を持ってやってくればよいのですけれども。だから、戸籍のない方というのめたくさんいるのだらうと思うのです。

○福地委員

そうですね、びっくりしました。

○酒井教育長

だから、母が出生届を出していないとか、これについての把握というのは、もちろん保健福祉部も当然かかわってくるというか、そちらが中心になるのですけれども、県もその辺のところについては、躍起になって解決の仕方について考えているようでございますので、この後、私どもの知り得た範囲の中ではしっかりと所在を確認する。また、万が一そういう戸籍のないお子さんなどが市内にいるかどうか、こういうことも地域の人が見つけないと、これはできないのだらうと思うのです。民生委員さんであるとか、自治会長さんであるとか、あるいはアパートの管理会社であるとか、持ち主であるとか、いろいろな人たちにそういう状況があるのだということを知っていただいて、そういったお子さん方に手を差し伸べていかななくてはならないのではないかなと思うのです。ややもしますと、戸

籍がある人間だけのほうに目がいってしまいますけれども、そうでない方も相当数いるのだということは、私たちは認識だけはしておかなくてはならないと思います。

以上です。

○福井委員長

ほかにいかがでしょうか。

新井委員、どうぞ。

○新井委員

18ページのツール・ド・おやまのエントリー数がたくさんあると思うのですが、この60キロコースは男性が多いのでしょうか。30キロと両方ありますよね。60キロって、随分長い距離だなと思って見ていたのですが、

○福井委員長

生涯スポーツ課長。

○篠田生涯スポーツ課長

ここに男女の区分けは掲載しておりませんが、圧倒的に男性が多いです。9割方男性ということで見ていただいて結構かと思います。また、距離については、むしろもっと距離が欲しい、走り足りないというようなアンケートでご意見をいただいているところがございます。市制60周年ということもありまして、初めて、60キロコースを設定させていただいておりますが、距離としては長くていいのだという話をいただいたところがございます。

○新井委員

30キロコースのほうは女性も多いのですか。そちらも男性が多いのですか。

○篠田生涯スポーツ課長

やはり男性が多いです。家族連れが多いというのが、この30キロのコースの特徴かと思えます。非常に堤防上の親しみやすいコースということで人気をいただきました。

○新井委員

これは、ご自分で自転車等は用意なさるのですか。

○福井委員長

生涯スポーツ課長。

○篠田生涯スポーツ課長

そのとおりでございます。いわゆるママチャリでも結構だということでご案内をいたしました。もっとも、スポーティーな車種で参加される方がほとんどでございました。

○新井委員

どうもありがとうございます。今、はやっていますよね。いろいろなところで、宇都宮でも。

○篠田生涯スポーツ課長

はい、注目いただいたところです。

○福井委員長

福地委員、どうぞ。

○福地委員

そのツール・ド・おやまの件なのですが、マラソンと同じようにやはり交通遮断とか、

する場所があったのでしょうか。

○福井委員長

生涯スポーツ課長。

○篠田生涯スポーツ課長

こちらにつきましては、交通ルールにのっとって、規則を守って走ってもらうという、いわゆるポタリングという言い方をするのですが、そういったセッティングで行いました。したがって、信号や2段階右折など交通ルールをしっかりと守って参加していただいたところがございます。

○福地委員

では、スピードを競うとかと、そういうことではないわけですね。

○篠田生涯スポーツ課長

はい。

○福井委員長

これは、企画政策から生涯スポーツ課へ担当がえになったということなのですが、最初の開催趣旨というのはどんなものだったのですか。

生涯スポーツ課長。

○篠田生涯スポーツ課長

まず、生涯スポーツの一環ということで預けられたところがあるのだと思うのですが、当初は市制60周年に当たり、小山の雄大な自然、また歴史遺産に親んでもらうというようなことでコースが考えられたという経緯がございます。

○福井委員長

教育部長。

○片柳教育部長

大会の趣旨ということなのですが、一般的にツール・ド・ランというのはスピードを競うものなのですが、先ほど生涯スポーツ課長から話がありましたように市制60周年、小山の歴史であるとか、田園風景であるとか、そういったものを市内外の人に知っていただく。また、自転車を利用して市内の各地、今回ですと、第1エイドが渡良瀬遊水地の生井桜つつみですが、そこで休む。エイド設備は、いわゆる休憩所ですが、そこでおもてなしをして、渡良瀬遊水地を見ていただきましょう。第2が道の駅で物産等を見る。第3が琵琶塚古墳、摩利支天塚古墳、いわゆる史跡を見ていただきましょう。第4が大沼、ため池100選と。スピードではなくて、小山の自然と歴史を楽しんでいただくということで始まったものです。

そういったことで企画政策課でもともと始まったのですが、生涯スポーツ課はマラソン等いろいろノウハウ持っているということで、最終的には全部任せられたというところ。それでも今回500名以上の方に参加していただいたのですが、アンケートを見ますと、自然やおもてなし、エイドステーションなど、大半が非常に評判のいい大会になったかなと感じております。次回以降もぜひ、また参加したいという意見が非常に多かったということでした。

ただ、次回ですが、サイクリングの交通の問題というかコースの問題で、来年度以降は北のほうは難しいのかなということなのです。警察からも言われているので変えざるを得

ないということで、今後の検討課題も残ったということでございます。

○福井委員長

新井委員、どうぞ。

○新井委員

これは、ヘルメットを着用とか、そういう規則はないのですか。

○福井委員長

生涯スポーツ課長。

○篠田生涯スポーツ課長

ヘルメット着用ということで参加していただきました。

○福井委員長

私のほうから。これは教育長からも報告があったのですが、わ食の日ということで12月8日、城北小学校でということだったのですが、このわ食の日というのは、和食がユネスコで見直されたという話題もあって、小山市でもそういう取り組みで来たのでしょうか、この日は全小学校の給食か何かで、わ食の日というのをやっているのですか。

学校教育課長。

○中島学校教育課長

毎月8日、3つの「わ」にちなんで実施しています。学校給食は月曜から金曜日までありますが、5月から始まり、6月は土・日に重なったので、実施しませんでした、統一の献立です。学校行事が入ったために日にちがずれることもあります、5月は「おやま和牛」、7月は「おとん」、9月は「ハト麦茶」。10月は「ラムサールふゆみずたんぼ米の栗ご飯」でした。11月は8日が休みの日でした。今回12月は「小山産の大豆を使った納豆」と、「おとんの肉じゃが」を出しました。あと1回は1月8日に行う予定です。

〔「市内全域で」と呼ぶ者あり〕

○中島学校教育課長

市内全域で行っています。

○福井委員長

一斉にね。

○中島学校教育課長

はい。

○福井委員長

新井委員。

○新井委員

そのことで思い出したのですけれども、この前テレビを見たら、渡良瀬遊水地でとれる小山産の白身の小さいお魚。

○福地委員

ホンモロコ。

○新井委員

ホンモロコ。初めて聞く名前だったものですから、これはどういうお魚かなと思って、その試食で小学生がおいしかったとか言っていました。ホンモロコってどういう字を書くのですか。

○中島学校教育課長

片仮名です。

○新井委員

ホンモロコ。

○福井委員長

もともとは琵琶湖などに自生していた魚を養殖しているのです。

○福地委員

自生しているのではないの。

○新井委員

ワカサギみたいな魚ですか。

○福井委員長

そうです。ちょうど大きさはワカサギぐらいです。

○新井委員

見た目はワカサギみたいでも、初めて聞く名前だったので、覚えられなかったものですか。

○中島学校教育課長

その辺の川にもいわゆるタモロコといって似たような魚がいるのですけれども、給食で出しているのは、ちょっと高級な魚です。

○福井委員長

養殖ですよ。

○中島学校教育課長

ええ、ことしは3件の農家の方が田んぼで養殖しています。

○福井委員長

教育部長、どうぞ。

○片柳教育部長

渡良瀬遊水地の関係でふゆみずたんぼという田んぼにずっと1年じゅう水入れておくのです。そこで、やっているのが、ふゆみずたんぼ米ということで、無農薬のお米をつくったのです。ただ、それは非常に反収が悪いのです。普通ですと、1,000平米当たり、大体8俵から9俵とれるところが、3俵とかで収穫が少ない。それで、同じふゆみずたんぼのところでは何かできないかということで、ホンモロコ養殖をやろうということなのです。いわゆるラムサールに関する賢明な活用の一つとしてやっているということです。去年は1件しかなかったかな。

去年は全部はできなかったのですけれども、ことしは増えたものですから全校に。そのホンモロコの活用の仕方にも、当初はいわゆる煮つけがほとんどだったのですけれどもいろいろ考えて……

○中島学校教育課長

昨年度、小学校5校で試験的に出したのですが、たれをまぶすとホンモロコ本来の味がわかりにくいので、てんぷらにしてはどうか、という意見もありました。しかし、てんぷらにすると、揚げるときに魚と魚がくっついてしまうものですから、結局、米粉をまぶして唐揚げにしました。ただし、高級魚なものですから、実際に子供たちが食べたのは2匹

か3匹ぐらいでした。

○福井委員長

これは関連で、さっきの議会の質問の中で岡田議員が質問した、環境行政で蚊の撲滅運動というのが入っていましたよね。去年話題になったのですが、現状、学校の中での蚊が発生する場所とか、あるいは排水とかと、いろいろな要素があると思うのだけよね。ここら辺の点検とか、駆除というのはどんなふうに現状はやっていますか。

どうぞ、学校教育課長。

○中島学校教育課長

岡田議員が特におっしゃっていたのは、水が溜まった空き缶などを放置すると、ボウフラが湧きやすいので、そういった環境をなくしてほしいということが趣旨でした。実際に学校では、業務主任が学校の草刈りをこまめにしています。学校によっては日当たりの悪い校舎の裏のほうで、蚊が生息しやすいところもあります。そういったところに近づくときは、長そでや長ズボンを着用し、肌を直接露出させないように指導しています。

○福井委員長

恐らく来年の夏、蚊が発生する時期になると、また話題になると思うのです。例えば事前に防除する方法とかあるいはチェック体制とかというのは、検討したほうがいいかもしれないですね、これは東京だけにおさまらないと思うのです。よろしく願いいたします。

そのほかはいかがでしょうか。

〔発言する者なし〕

○福井委員長

それでは、報告事項につきまして、ほかになければ報告事項を全て承認するという形でよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○福井委員長

それでは、報告事項については終了いたします。

続きまして、審議事項に入ります。

教育総務課から出ております議案第1号 小山市通学区域検討委員会の設置及び小山市立中学校通学区域制度検討委員会の廃止、それから議案第2号も小山市通学区域検討委員会への諮問ということで、1号、2号関連いたしますので、一括して説明お願いいたします。

○添野教育総務課長

それでは、資料の26ページをご覧いただきたいと思います。

議案第1号につきましては、27ページからが審議事項の内容でございます。趣旨につきましては、現在の小中学校通学区域等につきましては、昨年度提出されました学校適正配置等に関する提言、これを踏まえて、現在、小学校の統合並びに提言の中では、通学区域の再編についても提言をいただいたところでございます。今後、通学区域につきましては、検討しなければならないということで、こちらの検討機関がございませんでしたので、保護者並びに自治会の代表者などから成る小山市通学区域検討委員会を設置しようとするものでございます。

また、これに伴いまして、通学区域を検討することになりますと、平成14年に設

置しました中学校の通学区域制度検討委員会、これは隣接校希望選択制を導入するために設置したものでございますが、こちらにつきましては、設置目的が終了しているということで廃止しようとするものでございます。

内容といたしましては、この検討委員会において、教育委員会からの諮問により、通学区域に関する事項について調査検討をお願いしまして、答申をいただくものでございます。委員の構成、組織等につきましては、15名以内ということで、記載のような方々に委員となつていただく予定でございます。任期は2年で、再任できるというものでございます。現在、考えております内容、議案第2号にございますが、今回15名以内ということでございまして、委員につきましては、市議会議員から2名、そして自治会連合会から5名、市のPTA連合会から2名、そして校長会から3名ということで、合計12名の委員を選出するという案で進めております。

29ページにつきましては、**設置要綱の案でございまして、一般的なものですから、こちらについては、省略させていただきます。**

30ページ、こちらは中学校の通学区域制度検討委員会の設置を廃止する案でございまして、これは廃止するというものでございますので、省略させていただきます。

議案第2号が、今回設置をさせていただく検討委員会への諮問の内容でございます。こちらにつきましては、次のページと資料の一番最後に、**図面を添付してあります。**36ページにもございますが、現在、もう始まっておりますが、思川西部土地区画整理事業の区域がございまして、その詳細な図面がこちらでございまして、この区域につきましては、黄色で縁取りした部分が豊田南小学校、豊田中学校の通学区域となっております。ピンク色で縁取りした部分、こちらが小山第一小学校、小山中学校の通学区域となっております。この両方合わさったものが全体の思川西部の土地区画整理事業の区域ということで、約20ヘクタール強でございます。こちらにつきましては、既に市街化区域に編入されておまして、今後、土地区画整理事業が完成の暁には、新しい町名、町界となる予定でございます。すなわち、ほかの区画整理事業と同じように大字ではなくて、小山市何丁目何番地というような町名がつく予定の区域となるものでございます。

したがいまして、こちらについては**同じ区域、町名ということで、通学区域を1つにまとめたほうがよろしいのではないか**ということで、次の34ページ、思川西部土地区画整理組合から、ことしの5月に通学区域の指定の要望書が上げられております。また、平成25年度の提言書においても、基本的には小山第一小学校の学区とすることが望ましいというような提言も出ております。**基本的にはそのご要望が、小山第一小学校・小山中学校のほうに通学距離が近い**ということで、そのような区画整理組合の要望がございまして、その方向でお願いするものでございます。

こちらの学区につきましては、年を明けて、できれば1月から、遅くとも2月にはこちらの検討委員会を開催させていただきまして、区画整理組合でも、年度内に決定をしていただきたいというご要望がございまして、そのように向けて進めたいと考えております。

諮問書の案が33ページにございます。こちらについて、学区の決定について諮問するというものでございます。

以上、通学区域の検討委員会の設置及び現在設置してある中学校の通学区域制度検討委員会の廃止並びに通学区域検討委員会の諮問について、以上3点が議案として提案させて

いただいているものですので、ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○福井委員長

議案第1号、第2号についての説明は以上でございます。

これについての審議をお願いいたします。

福地委員、どうぞ。

○福地委員

この地図で何か大きな目印になるようなものがありますか。地域的にわからないものですから。

○添野教育総務課長

36ページのちょうど矢印で2本線が結んであって、その真ん中より南寄りに黒ぼちがあって、そこに斜線で示されているところがこの区域です。形的にこれとちょうど合うわけなのですが。

○福地委員

栃木に向かう道路ですね。

観覧橋を渡って右へ行くという。

○添野教育総務課長

ほとんど田んぼなので。右側は栃木へ行く道路です。今の計画でいきますと、道路沿いの2区画が区画が大きいと思います。広い道路を挟んで両側が大きい区画になっているのです。ここは、ショッピングセンターというか、商業施設が入るといように聞いております。

○福井委員長

あと、真ん中に黒くなっているのが新設する道路ですよ。

○添野教育総務課長

これからつくる道路です。

○福地委員

今言うベルジュエネは、このどの辺になりますか。

○添野教育総務課長

かなり手前になりますね。現地へ行きますと、今、ちょうど緑色のネットが張ってありますので。

○福井委員長

神山委員、どうぞ。

○神山委員

これは、何を審議すればいいのですか。

○添野教育総務課長

1つは、通学区域検討委員会の設置について。今後、こういう通学区域を決定してほしいとか、それから提言書の通学区域について決定する機関を、教育委員会として設置してもらいたいということ。2つ目は教育委員会として諮問するこちらの内容についてご審議をお願いしたいと。

○福井委員長

結局、37ページの地教行法の法律に基づいて教育委員会がやらなくてはいけないこと、

事務的にしなくてはいけないことの範疇に入っているわけですね。

それを新たに設置して、さらに諮問しようということですね。

○添野教育総務課長

はい。

○福井委員長

教育長、どうぞ。

○酒井教育長

大きな流れから言うと、自由が丘に今新設小学校をつくる推進委員会が動いています。そうしますと、この小学校の設置目的の一つが旭小学校の過大化、そして50号を渡すことの危険性ということで、旭小学校を2つに分ける。新たな学校ができるので、学区を決めなくてはならない。当然、そこは、また後でお示ししますけれども、大谷東小学校の学区と非常に隣接をしているところなのです。極端に言うと、そこに小学校ができたとなると、その小学校を右に見ながら、遠くにある大谷東小学校に通わなくてはならない。それで、現在、大谷東小学校である学区を、その新設小学校の学区に変更しなければならない。旭小学校を分ける、大谷東小学校を分ける、旭小学校が600名程度に落ちてきます。そのときに、旭小学校に東側で隣接している土塔、ここは現在小山城東小なのです。小山城東小も比較的大きな学校であるし、何よりも、朝非常に危険な城東線、水戸線の踏切の、要するに北行きも南行きも混雑しているところを、子供たちが渡って小山城東小学校まで通っている。ここを旭小学校があいた分、こちらに入れることも一つの検討材料ではないかということで、この辺の大谷東小学校、新設校、旭小学校、小山城東小学校の学区を再編しなくてはならない動きも絡んでくる。ということの長期的なビジョンの中で見込んだ上で、その一番最初として、思川西部について、委員会を設置させていただいて、そこでご協議いただくという一つ流れの中でご理解いただけるとありがたいと思っております。

以上です。

○福井委員長

神山委員、どうぞ。

○神山委員

この学区再編は相反する条件がありまして、実際は豊田南小学校、それから豊田中学校なのですが、両方とも生徒数減少学校なのです。ここから外してしまうと、ますます減少してしまう。もしかして、ここに住宅地ができるのであれば、豊田南小学校、豊田中学校に入っているとすれば、生徒数が維持できるかもしれないということなのです。

ところが、距離的には豊田は非常に遠いのです。遠くて通学が不便なのです。それで、バスで通う子供たちは、朝はバスで行くのですが、帰りは乗らない。なぜかという、帰りの時間はみんなばらばらになってしまうのです。それで、帰りは乗る人がいなくなってしまうのです。コミュニティバスはあると思うのだけれども、大体帰りには子供は乗らないのです。そういう問題があって、通学に物すごく危険性の高いところなのです。歩いていくと、交通量の多い栃木街道を、歩道もないようなところを歩いていくわけです。

地元の保護者は豊田中学校に統合されて小中一貫になって、9年間クラス替えがないような学校になってしまうよと思うのだけれども、それが一つの豊田にとってはデメリットですね。それから、子供たちにとっては、小山中は歩道整備されていないけれども、いず

れ歩道整備されるだろうと思うのだけれども、少しでも近い、そういう安全性の高い通学路が確保できるということは、子供たちにとってはメリットがあるところだと思うのです。その辺をどうやって検討委員会が判断してくれるかですね。

○福井委員長

教育総務課長。

○添野教育総務課長

こちらの区域の中はほとんど農地、田んぼでございまして、この中で現在小学校に行っているお子さんはお一人です。来年、そのお子さんの下のお子さんが入学する予定です。そのほかの区域内に現在住んでいる方では、生まれたばかりの乳幼児が1名だけ。十数戸しか入っていません。今現在は川西町自治会に加入しているということで、立木の自治会ではないので、小山第一小学校に通っていらっしゃるということで、下のお子さんも小山第一小学校に行くということでございます。

ですから、この事業がないと仮定すれば、豊田の小学校の児童数の影響ということはないということなのです。将来的には900人程度の人口を想定しているということなので、お子さんの数も、小学生で数十名の子供さんが通学するだろうと想定されますが、地元の要望と、組合だけではなくて、地元の自治会であるとか、それから豊田地区の全ての自治会長さんがいらっしゃるところで、地域の地元の強いご要望なのということです、ご説明はさせていただいているところです。

○福井委員長

それでは、議案第1号の従来のを廃止して、また新たに設置をする。その中で諮問を行うと、通学区域検討委員会で、第2号議案です。これについて特別異議がなければ、原案どおり決定したいと思います、いかがでしょうか。

〔「お願いします」と呼ぶ者あり〕

○福井委員長

それでは、議案第1号、第2号につきましては、原案どおり決定いたします。

続きまして、議案第3号に入ります。小山市国史跡琵琶塚古墳、摩利支天塚古墳整備委員会専門部会設置に伴う委員の委嘱ということであります。

これについての説明をお願いいたします。

文化振興課長。

○田村文化振興課長

40ページをお開きください。件名が小山市国史跡琵琶塚古墳、摩利支天塚古墳整備委員会専門部会設置に伴う委員の委嘱についてです。これについて、前回、協議事項を文化振興課で出すということで、琵琶塚と摩利支天古墳について、現地を委員の皆様方には見ていただいたと思うのですが、小山市には国史跡が7つある。そのうちの2つが琵琶塚と摩利支天でございます。そこを、今、整備のための発掘調査を行っているわけです。

これについては趣旨にあるのですが、平成24年に設置した小山市国史跡琵琶塚古墳、摩利支天塚古墳整備委員会に補助機関である専門部会を新設したため、設置要綱8条第2項の規定に基づき、委員を委嘱するものです。

委嘱期間については、平成26年7月1日から平成28年6月30日までの2カ年。委嘱者については、別紙のとおりになります。こちらについて3名の方を予定しております。下に

3名の方の略歴が載せてあります。まず、日高慎さん。こちらの方は、はにわの専門家で、はにわの製作技法や古墳の墳丘上における配列状況などについて詳しいので、今後、ご教示をいただきながら調査をしたいということで選ばせていただきました。続いて、小森哲也さん。この方は、横穴式石室の構造、調査に詳しく、石室の所在地の検討や調査についてご教示をいただきたく、選ばせていただきました。続きまして、右島和夫さん。この方は、古墳の築造に詳しく、琵琶塚、摩利支天古墳の復元について、今後していかななくてはならないのですが、ご教授をいただくために、この3名の方を選ばせていただきました。

43ページの8条の2項に、専門部会の委員は、古墳調査に関し高い学識を有する者の中から教育委員会が委嘱するというので、今回、ご審議をお願いいたします。

44ページは、整備委員会の専門部会の運営規則を、参考までに載せさせていただきます。

以上であります。

○福井委員長

議案第3号の説明は以上であります。

これについての審議をお願いいたします。

神山委員、どうぞ。

○神山委員

この3人の方は、今まで過去に小山市とどんなかかわりがあった人たちなのですか。

○福井委員長

文化振興課長。

○田村文化振興課長

今、この琵琶塚、摩利支天には、前回の教育委員会において承認をいただいたのですが、整備委員会というのがあり、12名の委員がいるのですが、その中に古墳についての学識のある方が3名いらっしゃいます。その方に発掘調査について整備委員会の中で協議していただいていたのですが、これについて昨年文化庁並びに県の文化財課から指導がありました。そこで、県や文化庁の方に相談しご教示いただいて、この3名の方を推薦していただいたので、選ばせていただいたという。小森さんと日高さんは、下都賀の車塚古墳の調査に当たっていた方です。

○神山委員

文化庁の推薦なのですね。

○田村文化振興課長

専門の方で、この関東の遺跡に詳しい方です。

○福井委員長

ほかにいかがでしょうか。

[発言する者なし]

○福井委員長

議案第3号につきましては、趣旨にのっとっていずれも専門性が高く、非常に信頼の置ける人だということですので、原案どおり決定してよろしいでしょうか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

○福井委員長

議案第3号につきましては、原案どおり決定いたします。

それでは、本日の審議事項は以上でございます。

続きまして、協議事項に入りたいと思います。

生涯スポーツ課から、市立体育館建設事業の進捗状況と基本計画の概要ということでございます。

これについての説明をお願いいたします。

<協議事項について説明・意見交換>

○福井委員長

今回の委員会の日程の説明、よろしくをお願いいたします。

○添野教育総務課長

その前に、先ほど神山委員からご質問のありました本溪市との交流ということで、市民生活課に問い合わせしたところ、平成22年の10月に本溪市から小山市に訪問されて以来は、具体的な交流というのはないという状況です。

今現在、中国とオーストラリアで隔年で交流をしていると。中国の紹興市とは、まだ友好関係を結んで5年を迎えたばかりということで、こちらが新しい交流なものですから、現在はそちらを重点的にしているということでございます。本溪市との友好交流都市の関係については、現在も継続しているものですから、本溪市から交流の依頼があれば、受け入れを行っていくというような状況でございました。

○神山委員

すると、本溪市と紹興市と2本立てですね。

○添野教育総務課長

そうですね。

○添野教育総務課長

それでは、今後の教育委員会の日程でございますが、年明けまして1月16日でございます。14時から、こちらの試写室ということでよろしくをお願いいたします。

○福井委員長

それでは、本日の12月の定例教育委員会、これにて終了といたします。

どうも、長時間ありがとうございました。

————— 閉 会 午後 4時00分 —————